



安曇野ふるさとづくり
応援団

パートナー通信安曇野 第28号

発行：NPO 安曇野ふるさとづくり応援団
安曇野市穂高柏原1132-2 (有)ライフポート安曇野内
TEL ; 0263-81-1325

2014.3.7

URL ; <http://npo-furusato.way-nifty.com/azumino>

編集；木船

みみより情報

「第20回ふるさとウォッチングin安曇野」を開催します。

屋敷林と歴史的まちなみプロジェクトと連携して開催している安曇野の原風景を巡るウォーキング「ふるさとウォッチングin安曇野」。節目となる20回目は、4月13日午前中に堀金下堀地区で開催します。扇町公園を起点に諏訪神社や拾ヶ堰、屋敷林や道祖神が点在する小路等を巡る春の安曇野にピッタリのコースです。色とりどりの花が咲き誇る安曇野の田園風景の中をゆっくり散策してみませんか？詳しくは別紙案内をご参照ください。



今回は堀金の下堀地区！

みみより情報

「安曇野ふるさとさんぽ2014春」

昨年度スタートし大好評だった を実施します。

「ふるさとウォッチング」のリメイク版

「安曇野ふるさとさんぽ」を、今春も4～6月に4コースで開催します。4月26日は豊科飯田地区、5月10日は三郷中萱地区、5月17日は明科東川手地区、6月15日は穂高等々力地区で、参加費は1名500円(中学生以下無料)です。

なお、ぬかくどおにぎりの振舞いやふるさとパートナーの割引特典はありませんのでご注意ください。また、定員は20名となっていますので、早めの申込みをお願いします。詳しくは別紙案内をご参照ください。



2013秋三郷二木地区

みみより情報

「やまこの学校」と「さとやま楽校」開校のお知らせ！

安曇野市穂高有明地区で320年あまりの歴史を刻む、やまこ(天蚕)の飼育。この伝統文化伝承を目的として昨年より始めた「やまこの学校」を平成26年度も開校いたします。観て、触って、体感する天蚕飼育体験講座ですので、ぜひご参加ください。こちらは初めてご参加されるかたにおすすめです。

詳細は別紙案内、及び<http://yamakonogakko.web.fc2.com/>をご覧ください。

また、「さとやま楽校」～里の楽しみ講座～を国営アルプスあづみの公園、堀金穂高地区において開校いたします。13講座を予定しており、講座&フィールド活動が主で里山学を学べる絶好の機会となります。こちらの講座にも「やまこの教室」が6回予定されておりますが、昨年度に「やまこの学校」を体験された方にお勧めです。

詳細はアルプスあづみの公園、堀金・穂高管理センター

0263-71-5511又は、<http://www.azumino.go.jp>をご覧ください。



報告 「くるりんひろばの日」を開催しました。

去る年2月22日(土)、安曇野市市民活動団体「わの会」の設立5周年記念事業を開催しました。当日は安曇野市より副市長の参加を得て、5周年記念式典、その後にセンターの全館を会場として子育て

支援、健康・介護相談、井戸端会議を開催し、1階のフリースペースでは子供たちを対象にした「くるりん縁日」を開催しました。スタッフを入れて約200名の参加を戴きました。子供から高齢者まで広く交流ができ、館内での賑わいは近来にない盛況で、市民が一体になれる場面はほほえましく思いました。主催の中心的スタッフとして協力をいただいた、「安曇野ふるさとづくり応援団」の皆様には感謝申し上げます。

「わの会」会長 宗像章

報告 安曇野まちなかカレッジ2014冬 安曇野学講座 「火の見櫓っておもしろい」が好評でした。

「安曇野案内人倶楽部」では、去る2月16日、安曇野まちなかカレッジ安曇野学講座「火の見櫓っておもしろい」を開催しました。二週に続いた大雪の直後とあって開催が危ぶまれましたが、当日は大勢の方にご参加いただき、充実した内容の講座を開くことができました。



火の見櫓研究家で一級建築士でもある講師の平林勇一氏からは、ときに専門的解説も交えつつ、安曇野を中心に各地の火の見櫓を画像で紹介し、そのデザインの多様性と鑑賞のポイントなどを披露していただきました。

各地に残る火の見櫓は順次撤去解体の進んでいるのが現状ですが、住民を見つめる安全遺産として、地域づくりのシンボルタワーとして、また町の歴史の記憶装置として、ひとりでも多くの方にその存在価値を感じ取って欲しいと私たちは願っています。

報告 「安曇野屋敷林フォーラム2014」 を開催しました。

去る2月22日(土)、安曇野市穂高緑山公園研成ホールにて「安曇野屋敷林フォーラム2014」が開催されました。記録的な大雪のあとにも拘らず、市内より60名ほどの参加をいただきました。



基調講演は信州大学副学長の笹本正治様に、「安曇野の屋敷林」と題しお話しいただきました。屋敷林の意味や安曇野で失われつつある木の紹介がありました。桑の木はかつてこの地域が養蚕で栄えた記録であり、また栗の木や柿の木などについての記録も大切に残してほしいとのメッセージでした。やはり屋敷林は歴史的なものでありかつては生活と密接に関わってきたものなのです。

パネルディスカッションでは「身近にできる緑化」をテーマに生け垣などにつき意見交換をしました。丸山さんからは景観計画で緑化に対して非常に施主の関心が低いことがデータで紹介されました。高橋さんからは、専門家として生け垣の推薦や屋敷林として手の届かない樹種の推薦がありました。望月さんからは、住民協定をつくり電柱のない緑あふれる住宅地の紹介がありました。

安曇野市にとって重要な財産である屋敷林のある風景は今後も存続させていきたいものです。北アルプスや扇状地を流れる河、またその湧水によって営まれるわさび畑など、みな安曇野市の財産です。この地が景観的にも優れていることは全国レベルで評価されています。しかし、細かい目でみると、もっと緑化された景観にする必要があるのではないのでしょうか。緑の豊かさは心の豊かさにも繋がると思います。毎日生活している喜びの中で、緑ある暮らしを充実していきたいものです。

笹本先生の言われる通り、水は安曇野の大きなテーマだと思います。

今後も水のある景観について、屋敷林と共に考えていきたいと思っています。(場々洋介)

お願い 重要 ふるさとパートナー更新のお願い

平成25年度「ふるさとパートナー」の会員期限は3月末となっています。平成26年度の継続には年会費1,000円が必要となりますので、同封のご案内を確認の上、是非会員の継続をお願いします。尚、「ふるさとウォッチング」「ふるさとさんぽ」の会場でも手続きが可能です。また、6月末までに更新手続きがされない場合は、パートナー通信の発送を一旦停止させていただくこととなりますので、ご了承ください。